

推しが多すぎて迷走中♡

M「今回はそれぞれの推し作家について存分に語る予定です。最初にお断りしますが、作家先生のお名前は敬称略でお届けします。…というわけで私の好きな作家は伊坂幸太郎なだけどね。もう、ホラ、伏線が楽しすぎて。」

F「巻頭でどの作品を紹介されますか？」

M「だって展示タイトルが『バズらせ隊!』って、この方はすでにバズりまくっているというか、安定した人気作家じゃない？」

F「…ですね」

M「でね?最近好きなのが伊吹有喜なだけど、これまたすでに人気作家」

F「直木賞や本屋大賞の候補常連ですもんね」

M「伊吹有喜の最近の作品は、高校が舞台なので YA 向けにもいいと思うのよね。読んでてグサツとかキュンとか刺さる瞬間が好き。ところで F さんは、誰を推すわけよ? F さんは乱読多読っばいから、マニアックなところを攻めよう」

F「私は彩瀬まるを推そうかと」

M「名前は知ってるよ。読んだことないけど。確かホネ…のナントカ？」

F「『骨を彩る』ですよ!作風はファンタジーのような少しフシギ系ですかね…。辻村深月とか好きな人なら好きになってくれそうだと思うんですけど」

M「あと、その手に持っているのは中国作品？」

F「陸秋様です。図書館にある作品は少ないですけどミステリーテイストで面白いんですよ」

M「名前読めないよ!ルビ振って!ルビ!!しかし読書幅広いなあ。私は外国作品は独特の訳が苦手でイマイチなのよ～。一般的エンターテインメント好き」

F「あら?ホラーは？」

M「ホラーなら澤村伊智推します!背中がザワザワする感じがいいよね～？」

F「同意を求めないで(泣)…ところで今回一言も発していない方がいます！」

M「あっ、Sさんね!Sさんはこの春に新天地へ！」

F「風のように去って行かれました…」

M「急いで新担当を選出しなければ!白羽の矢は誰に？」

F「乞うご期待～★」



<https://www.instagram.com/hondarake55>

←ブログはこっち <http://sanda-city-lib-ya.sblo.jp/>



←インスタは

ココ

ホンダラケ♡

2021. 6.1

推し作家、バズらせ隊!

作家の世界もキビシイから、生き残るのは大変なんですって。ここからほんとにバズったらすごいよねー。

『探偵は教室にいない』

川澄浩平:著 東京創元社 2018年刊

著者はこの作品で第28回鮎川哲也賞を受賞し、2018年にデビューしました。そんなワケで、作品はまだ2作。

だがしかし!北海道の女子中学生が出くわす「日常の謎」を、強烈な個性の引きこもり少年が解き明かすというこのデビュー作が、早くもシリーズ化しようとしています!これはきっと化けるのはないでしょうか…。化けてほしい(願望)



F/カワ

ホンダラケとは

本誌は、読者の身も心も「本だらけ」にしてやろうという心意気から生まれた中高生向け小冊子です。本誌に登場する本は全て三田市立図書館本館のYA(ヤングアダルト)コーナーでご覧いただけます。

2か月に1度、年6回発行予定です。

ホンダラケは皆様の投稿をお待ちしております。YAコーナーに用紙・ポストがございますので、おすすめ本や本誌の感想・要望などお寄せ下さい。

青春読書記

～三田学園図書委員会より愛をこめて～

テーマは「海外が舞台の本」。

本を読めば、地球の裏側にだって行けますね。

『そして誰もいなくなった』

アガサ・クリスティー著 青木久恵訳 早川書房

U・N・オーエンと名乗る男にインディアン島に招待された職業、年齢、経歴の違う10人。インディアン島に着いても招待主の姿が全く見えないままお客さん10人が立派な食卓についたとき、お客さん10人それぞれの過去の犯罪をどこからともなく暴き始める声が響いた。すると不気味な童謡の歌詞通りに1人、また1人と殺されていく不朽の名作。



933/クリ

P.N. クロエ (高校2年生)

新着図書 Pick Up

『勉強する気はなぜ起こらないのか』

外山美樹:著 2021年刊 筑摩書房

さあ、テスト週間だ、勉強するぞ!と机に向かっては見たものの。そういえば、部屋が散らかっているな……気づけば片づけに没頭。結局勉強は手つかず、なーんてことに覚えがある人は少なくないはず。

この本は、やる気と呼ばれるものがなんなのか、どうすればやる気が起きるのかを教えてください。著者は、やる気があるように見える人は、やる気が出ないときにどうすればいいかを知っているのだと言います。あなたもこれを読んで、自分のやる気スイッチの押し方、見つけませんか。

141.7/21

CM

デジタルライブラリー

電子図書館を全力で推します!!

デジタルライブラリー

電子図書館、略してDLを利用してますか?

DLのイイところは、なんといっても

本を持ち歩かなくていい☆ 返し忘れない☆

うっかりページ破いたり、ジュースこぼしたりそんな心配

ナッシング☆ ためしに利用申込をしてみてください～

(※利用資格は三田市在住・在学・在勤の方です)



ライトノベルも入ってるよー

- ★「Re:ゼロから始める異世界生活」長月達平
- ★「ようこそ実力至上主義の教室へ」衣笠彰梧
- ★「なぜ僕の世界を誰も覚えていないのか?」細音啓

YA世代のために血を吐く思いで名作を紹介するコーナー

『モンテ・クリスト伯』(全7巻)

アレクサンドル・デュマ:著 山内義雄訳 1956年刊 岩波書店

待て、しかして希望せよ!

悪者をやっつけるヒーローより、敵役のほうがかっこいいと思うことって結構ありませんか?

日本では『巖窟王』としても知られるこの作品。主人公は、自分を陥れた奴を破滅させようとするいわばダークヒーロー。知略を巡らせて、巧みに復讐相手を追い詰めていきます。その合間には、恋敵と結婚してしまった昔の恋人と再会したり、自分を慕ってくれる女の子といい感じになったり。

正統派ヒーローでない彼が復讐の果てに見つけた答えをぜひ感じ取ってください。



953/デュ